

[プレスリリース]

岡田／吉岡組、磯崎／関組がメダルレース進出 スペイン・マヨルカ島で開催中の470級世界選手権大会



暫定3位でメダルレースに進む岡田／吉岡組

© Bernardí Bibiloni/Int. 470 Class

スペイン・マヨルカ島で開催中の「2024年470級世界選手権大会」は決勝シリーズが終わりました。最終日（現地時間3月3日）は上位10艇によるメダルレースが行われ、日本からは暫定3位の岡田／吉岡組、暫定8位の磯崎／関組が出場します。

今日は18～20ノットの強風とうねりがある、大会中もっともタフなコンディションでした。初日から首位をキープしていた磯崎／関組は2レースとも下位フィニッシュとなり暫定8位に後退。1レース目で磯崎／関組に追いついた岡田／吉岡組は、2レース目も粘って暫定3位に踏みとどまり、今大会初めてリードを奪いました。吉田／吉田組は11位で惜しくもメダルレース進出を逃し、強風を得意とする高山／盛田組は2レース目でシングルを取り19位で大会を終えました。

首位に立ったのは、地元スペインのJordi Xammar（東京2020五輪男子470級銅メダリスト）／Nora Brugman組です。岡田／吉岡組との差は16点。メダルレースは得点が倍になるので、まだ逆転の可能性があります。一方、磯崎／関組も表彰

台まで順位を上げられる得点差です。メダルレースは現地時間の午後1時にスタートする予定です。

今大会はパリ2024オリンピック・男女混合470級日本代表の一次選考大会です。表彰台に上がった場合、1位は総合ポイントからマイナス8点、2位はマイナス7点、3位はマイナス6点のボーナスポイントが付与されます。二次選考は今大会と同じくマヨルカ島で3月29日から始まるプリンセスソフィア杯で、2大会の総合成績を加算し、そこから種目別世界選手権大会で付与されるボーナスポイントを調整。最もポイントの少なかった1チームが代表に内定します。

【選手コメント】

岡田 奎樹選手：明日はメダルを取ることが目標。ただ、点差が後ろとも詰まっているし、前とも近いので、対1艇の勝負ではないところが非常に難しい戦いになる。

【11レース終了時の成績】（参加61艇）

- 1位：Jordi Xammar／Nora Brugman（スペイン）56ポイント
- 2位：Vita Heathcote／Chris Brube（イギリス）67ポイント
- 3位：岡田 奎樹／吉岡 美帆 72ポイント
- 4位：Simon Diesch／Anna Markfort（ドイツ）75ポイント
- 5位：Nitai Hasson／Noa Lasry（イスラエル）78ポイント
- 6位：Camille Lecointre／Jeremie Mion（フランス）82ポイント
- 7位：Anton Dahlberg／Lovisa Karlsson（スウェーデン）84ポイント
- 8位：磯崎 哲也／関 友里恵 85ポイント
- 9位：Martin Wrigley／Bettine Harris（イギリス）89ポイント
- 10位：Lara Vadlau／Lukas Maehr（オーストリア）90ポイント

- 11位：吉田 愛／吉田 雄悟 103ポイント
- 19位：高山 大智／盛田 冬華 123ポイント

大会公式サイト：<https://2024worlds.470.org/en/default/races/race>

成績表：<https://2024worlds.470.org/en/default/races/race-resultsall>

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

日本セーリング連盟広報委員会 kohou@jsaf.or.jp
または 西 朝子 sailingnishi@gmail.com 090-1042-9262

JSAF 公式サイト <https://www.jsaf.or.jp/>
オリンピック強化委員会サイト <http://jsaf-osc.jp/>